

西教寺進徳日曜学校だより

西教寺蔵本通支坊 2006.6.3 呉市中央7-7-13 Tel21-2798 E-mailchinei63@enjoy.ne.jp

今日したこと

- おはなし 絵本「いのちのまつり」
- 仏教子ども新聞「地球からいなくなった鳥」
- ゲーム



今年のビンゴゲーム西教寺賞はデジタルカメラと電子マッサージ機（神経痛コースつき）でした。写真は約百二十名の参加者の中から、めでたく賞品をゲットした河崎真侑君。子どもの参加は40名を超えました。最後の3人は、内田君と岩崎（慧）くん（いずれも日曜学校生徒）のご近所組になりました。最後はめでたく河崎くんがゲットしました。ここ何年か子どもがゲットしています。

●通行人の3タイプ-降誕会ビンゴの時の子どもにした法話①-

奈良県に、女人高野として有名な室生寺があります。そこへ行くのに二股に分かれた道があり、室生寺には左へ行かねばなりません、右へ行くと山深く迷い込んでしまって捜索隊が出るそうです(^_^)。その道が二股に分かれたところに、おばあさんが住んでいて、そこを通る人に3タイプある、という話をされました。

捜索隊が出ると大変なことになるので、おばあさんは何処へ行こうとするのか、大概声をかけるのだそうですが、最初のタイプは、おばあさんが声をかけても、全く無視して、スタスタと歩いて行くタイプです。このタイプは、大概迷い込んで捜索隊がでるそうです。(^^)

二つ目のタイプは、おばあさんが声をかけると、ぱっと反応して「あっ、私は道を間違えてましたか？私は室生寺に行きたいのですが…」と、気がついて道を探るタイプです。三つ目のタイプは、おばあさんが声をかける前に自分から道を探るタイプです。

皆さんは、どのタイプですか？ また、どのタイプがエライと思いますか？（子どもは1番目とか3番目とか言っていました。）だれでも初めての人生です。私たちは、気がつかずに道を間違っていることもあります、声をかけられたら1番目のタイプのように、自信满满で他人に全く耳をかさず、間違った道を行ってしまう人間にならずに、「もしかしたら」と自分を問い返せるようになりたいものですね。まあ、失敗しないように人生の先達の教えを聞く（お寺に参る）ことが何よりだとは思っているのですが。

この次は、
6月18日（土）
9時～10時 です。
その次は7月1日（土）